

学校図書館

だより vol.7

冬号

2022年12月発行

読み聞かせはお父さんのしごと

佐藤 隆
(都研文科大学教授)

北欧の国フィンランドについて日本の認知度は20年ぐらい前までは「森と湖の国」「オーロラ」「白夜」「ムーミン」……という程度ではなかったかと思いますが、ところが、2003年にOECD（経済協力開発機構）が行った15歳時点での学習到達度を測定するPISA（Programme for International Student Assessment）でフィンランドの子どもの好成績が示され、その教育への注目度は急速に高まりました。それにもなって、医療や福祉が充実した国としてのフィンランドそのものへの関心も広がっていきま

えを深めていくことができます。そのときに大きな役割を果たすのが読書です。太陽が沈まない夏、おとなも子どもも、朝から晩まで豊かな自然を求めて屋外で過ごします。けれど、日照時間がとても短くなる冬の夜には、家の中で本を読み、物語の世界に浸ります。昔からフィンランドの人々はこうやって生きてきたのです。その習慣はいまでも残っています。図書館の利用者数は世界のなかで最も多いという調査結果さえあります。子どもが初めて手にする自分専用のカードは図書カードだと言われるほどですし、各家庭には図書館が発行する「読み聞かせガイドブック」が配付されます。誕生日やお祝い日に本をプレゼントしようということもよくあることです。

学校でも、教師は子どもを本好きにすることを心がけています。先生が読む物語を通して、子どもたちは「なぜ、どうしてそうなるの？」という疑問をたくさ



こうしたフィンランドブームの「火付け役」となった子どもたちの高学力の秘密ですが、その「しくみ」は、いたってシンプルです。一言でいえば、教育を「勝ち負け」の対象としてではなく、自分の学びや生き方を自分でプロデュースするためのものと多くの人が考えていることです。実際、中学校を卒業すると、およそ半数の生徒は自分が就きたい仕事を学ぶための職業高校に進学します。同時に、順番をつけるようなテストをしてはいけないことになっていますから、子どもたちはテストのための勉強ではなく、自分の興味や関心をじっくりと探し、考

えを深めていくことができます。そのときに大きな役割を果たすのが読書です。太陽が沈まない夏、おとなも子どもも、朝から晩まで豊かな自然を求めて屋外で過ごします。けれど、日照時間がとても短くなる冬の夜には、家の中で本を読み、物語の世界に浸ります。昔からフィンランドの人々はこうやって生きてきたのです。その習慣はいまでも残っています。図書館の利用者数は世界のなかで最も多いという調査結果さえあります。子どもが初めて手にする自分専用のカードは図書カードだと言われるほどですし、各家庭には図書館が発行する「読み聞かせガイドブック」が配付されます。誕生日やお祝い日に本をプレゼントしようということもよくあることです。

学校でも、教師は子どもを本好きにすることを心がけています。先生が読む物語を通して、子どもたちは「なぜ、どうしてそうなるの？」という疑問をたくさ

70th
福音館書店

福音館書店創立70周年記念出版

戦後、子どもたちが心から楽しめる本がなかった日本では、絵本の世界を作り上げてきた松居直。その根底には「こぼへん」の思いがありました。



私のこぼへん体験

松居直 著 安野光雅 挿画

定価：2200円 NDC289 大人向
192ページ 初版：2022年9月

松居直の最後のことば

くりとぐら、だるまちゃん、おきまなかな……
あの絵本はここから始まった
安野光雅の挿画で贈る「こぼへん」と「初代編集長、松居直の遺作となった1冊

絵本の人気者の未単行本化作品も収録

毎日1話ずつお楽しみください!
「母の友」特選童話集 ともに聞かせる一日一話
福音館書店 母の友編集部 編
定価：1650円 NDC913
88ページ 初版：2022年9月

雑誌「母の友」で長く続く人気企画「ともに聞かせる一日一話」の中から、短くおもしろい童話を選び、一挙に30話掲載。「ぐりとぐらのピクニック」や「だるまちゃんとうらしまちゃん」や「ぐらんぱのたんじょうび」など、朝の短い時間の読書に最適です。



© 100%ORANGE

「母の友」の好評連載が一冊の本に

絵本にでてくるおいしい料理を作ってみよう!



おいしい絵本レシピ

野口真紀 著

定価：1650円 NDC596
64ページ 初版：2022年9月



「マトロニア」で、丸ごとトマトのサラダ。「3月のくま」で、かぼちゃのスイートポテト。「生命の鼓」で、特製おにぎりとお餅、など。

© Yuka Okuyama

現役の図書館員でもある

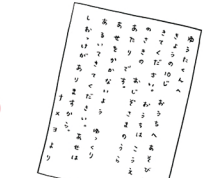
おくやまゆかさんの新作幼年童話



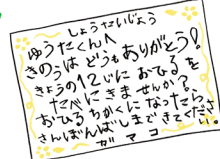
三まいののはがき

おくやまゆか 作

定価：1210円 NDC913
72ページ 初版：2022年9月
ある日、ゆうたにとどいた三まいの招待状。差出人は、ナメコ、ガマコ、ニヨロミ……。いったいだれなんだろう？ じつはこの三人、ゆうたがきのう贈けたマクジ、カエル、ヘビだったのです。



もじゃもじゃドライブ!
おくやまゆか 作
定価：1100円 NDC913
56ページ 初版：2023年2月予定
お父さんが買った、かっこいい中古車。さっそくドライブにいくと、なんと車から、茶色い毛が、ぐんぐん出てきて……!
2023年2月刊行



「たましいいっぱい」(KADOKAWA)で第19回文化庁メディア芸術祭マンガ部門新人賞を受賞。漫画に、「むかこっぴり」(同)、「コトリコトコ」(小学館)、児童書に、「食いんぼのいのししの楽しい毎日」(小学館)、「おぼろのうた」(福音館書店)などがある。マンガと小説の雑誌「ランパーロール」を主宰。図書館員。

著者おすすめの本

～小学校低学年向けの幼年童話～

干し柿を大家族で手回しかけて作る工程や道具が丁寧に描かれた作品。柿がとてもおいしそう。



石川えり 作・絵
福音館書店

土屋くんはタヌキだった！冒険のおもしろさを顯される。正直者の土屋くんが魅力的。



富安陽子 作/大島妙子 挿画
福音館書店

生きもの好きにはたまらない。動物の生態系に沿ったリアルなエピソードがいっぱい。



今井恭子 作/岡本順絵 挿画
福音館書店

イカ師匠のセリフまわし(だじゃれも)がとっても楽しい。絵も文章にぴったりの絵童話。



香椎もこ 作/岡田よしあき 挿画
福音館書店

真夜中に目を覚まして冷気、カマキリ、水たまり……たちの物語。いろいろな言葉に出会える本。



おくはゆめ 作・絵
理論社

お知らせ

学校図書館関連情報はこちら
<https://bit.ly/3r4lmgt>

「学校図書館だより」やメールマガジンなど、学校図書館の二活用に役立つ情報をお送りいたします。
<https://bit.ly/39tjYf1>

お問い合わせ先
〒113-8686 東京都文京区本駒込 6-6-3
株式会社 福音館書店 営業推進部 宣伝課
TEL 03-3942-2066 FAX 03-3942-2067

価格は、2022年12月時点のものになります。
レアウト：山下さとし Illustrations © Yuriko Yanawaki

福音館のInstagramアカウントからおくやまさんのブックトークライブをご視聴いただけます。
[@fukuinkan_pr](https://fukuinkan_pr)



童話新刊

心躍るシリーズの開幕! 私立探検家学園

第一弾

私立探検家学園1 はじまりの島

齊藤倫作・桑原太矩 画

定価：1320円 NDC913
232ページ 初版：2022年10月

第二弾

私立探検家学園2 あなたが魔女になるまえに

齊藤倫作・桑原太矩 画

定価：1430円 NDC913
320ページ 初版：2022年12月

目指したのは、「関口は広く、奥行きは深く」! 「探検家」の育成が目的という、一風変わった学校に、世界中から集まった子どもたち。そんな仲間たちと協力して挑む〈実習〉。そこで課されるミッションは「ドラゴンの卵をつける」「マンドラゴラを探せ」と、聞いただけでもわくわくするものばかり。個性的女先生たちが繰り広げる授業は、物事に思わぬ角度から光をあて、子どもたちの知的好奇心を刺激します。まさにこの本を読むことが、探検そのもの! そして、この学園にはなにか秘密もあるよう……。会話のリズム、描写、展開に工夫を凝らし、また、物語の輪郭を際立たせ、登場人物の魅力を引き出す桑原太矩さんの挿絵も得て、本が好きな子どももろっ。あまり本を手にとらない子どもたちもきっと虜にする新シリーズがスタートしました! (岡田)

絵本の名手のやさしさにみちあふれたお話

わらってよピッコ

ルイス・スロポドキン作
こみやゆり 訳

定価：1430円 NDC933
32ページ 初版：2022年10月

公園で子どもたちをカートにのせ引く強る仕事をしているポニーのピッコ。いつも思っているのはなぜなのでしょう。やさしい兄弟アフレッドとジューナが、ピッコのためにがんばります。

作者のルイス・スロポドキンは、『百まのドレス』や『さかさ町』など児童書の挿絵もおなじみの作家です。この絵本の主人公である兄と妹は、公園にいる悲しそうなポニーをなんとかしてあげたいとあれこれ奔走します。この子たちの姿を見ると、困っている人がいたら助けてあげたいという無垢なやさしさは、もともと人に備わっているにちがいない! と心強い思いになります。舞台はイタリア、60年も前に出版された絵本ですが、時も場所も越えて、読ん手の子ももちは、この勇敢な兄妹を、自分の大切な友達のように応援したくなることでしょう。(菅野)



2015年の国連総会で採択された、SDGs。2030年までに達成すべき「持続可能でよりよい世界を目指す目標」として、具体的な17のゴールが立てられました。最近ではメディアでも活発に取り上げられ、小学校や中学校の教科書にも記載されるなど、未来を担う子どもたちにも身近な話題になっています。SDGsを学ぶ本もたくさん刊行されていますが、まずは子どもたちにとって身近なものを「知ら」ことが、世界の問題に興味を持つ初めの一歩になるのではないのでしょうか。そんなきっかけになるような絵本、読み物を集めました。

じゃぐちをあけると当たり前のように水がでるけれど...

すいどう

百木一朗 作

定価：990円 NDC518
28ページ 初版：2022年11月

蛇口を開けると水が流れてきます。汚れた水は下水口からどこへ流れて消えています。床下には潜む不思議な仕組みと下水道。いったいどうなっているのでしょうか?

パラリンピックを生んだ医師の奮闘を描く

パラリンピックは世界をかえるルートヴィヒ・グットマンの物語

ローリー・アレクサンダー 作
アラン・ドラモンド 絵・千葉茂樹 訳

定価：2640円 NDC283
112ページ 初版：2021年3月

パラリンピックは参加者が暮く場所というだけでなく、私たちがバリアフリーや多様性、相互理解について知るよい機会としても知られています。そんなパラリンピックを生んだ医師の奮闘を描きます。

明日への希望をつなぐ 運命の物語

明日をさがす旅 故郷を離れた子どもたち

アラン・グラツ 作
さくまゆみこ 訳

定価：2420円 NDC933
416ページ 初版：2019年11月

ドイツ、キューバ、シリア。それぞれの故郷を離れた3人の子どもの旅路が、時を超えて響き合う。恐怖と闘いながら明日への希望をつなぐ運命の物語。

地球がうみだす土のはなし

大西健夫・龍澤彩文
西山竜平 絵

定価：1430円 NDC450
32ページ 初版：2021年3月

はじまりはたき火 火とらしてきたわたしたち

まつむらゆりこ 作
小林マキ 絵

定価：1540円 NDC209
48ページ 初版：2020年1月

稲と日本人

甲斐信枝 作
佐藤洋一郎 監修

定価：2200円 NDC210
64ページ 初版：2015年9月

食べているのは生きものだ

森枝卓士・写真

定価：1430円 NDC596
40ページ 初版：2014年11月

ぼくのママはうんてんし

おともやすお 作

定価：1430円 NDC360
36ページ 初版：2012年9月

ドレスを着た男子

デイヴィッド・ハウリアムズ作
ケンティン・ブレイク 画/鹿田昌英 訳

定価：1650円 NDC933
232ページ 初版：2012年5月

たべることはつながること しょくもつれんのはなし

パトリシア・ローパー 作
ホリー・ケラー 絵

定価：1430円 NDC460
32ページ 初版：2009年5月

トイレのおかけ

森枝雄司 写真・文
はらさんべい 絵

定価：1430円 NDC383
40ページ 初版：2007年10月

世界あちこち ゆかいな家めぐり

小松義夫 文・写真
西山昌 絵

定価：1430円 NDC383
40ページ 初版：2004年10月

絵で読む 広島原爆

那須正幹 文・西村繁男 絵

定価：2860円 NDC209
84ページ 初版：1995年3月

ペレのあたらしいふく

エルサ・ペスコフ 作・絵

定価：1320円 NDC949
16ページ 初版：1976年2月

あなたのいえわたしのいえ

加古里子 文・絵

定価：990円 NDC524
24ページ 初版：1972年3月

しずくのぼうけん

マリヤ・テリコフスカ 作
ボフダン・ブレンコ 絵/うちだりさこ 訳

定価：990円 NDC989
24ページ 初版：1969年8月

海

加古里子 文・絵

定価：1650円 NDC452
40ページ 初版：1969年7月